春日権現験記　２０軸　　WA３１－１３

０３－００１

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－００２

WA 31
13
(3)

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－００３

知足院乃開白殿いまゝわの是たちしまし事毎時坐
川北左大臣のむこになりしまひに第に方事茶
なのに御そしまさ里事たちし是れ無にやいに
法に御意なるゝれハ本こゝ性にて あるゝ
に多くなる殺事給ふ里とて左府意よ給ふこゝ
重要なるに御座そ到めきけるのむまれしを屋の法
子うせ給ふるゝ此乃事ないなきに左府にハかりたてさ
法里事女房にち申あそせて乃こ給むされる
法師乃手紙とりて御子乃よしにもてあしゝ第に

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

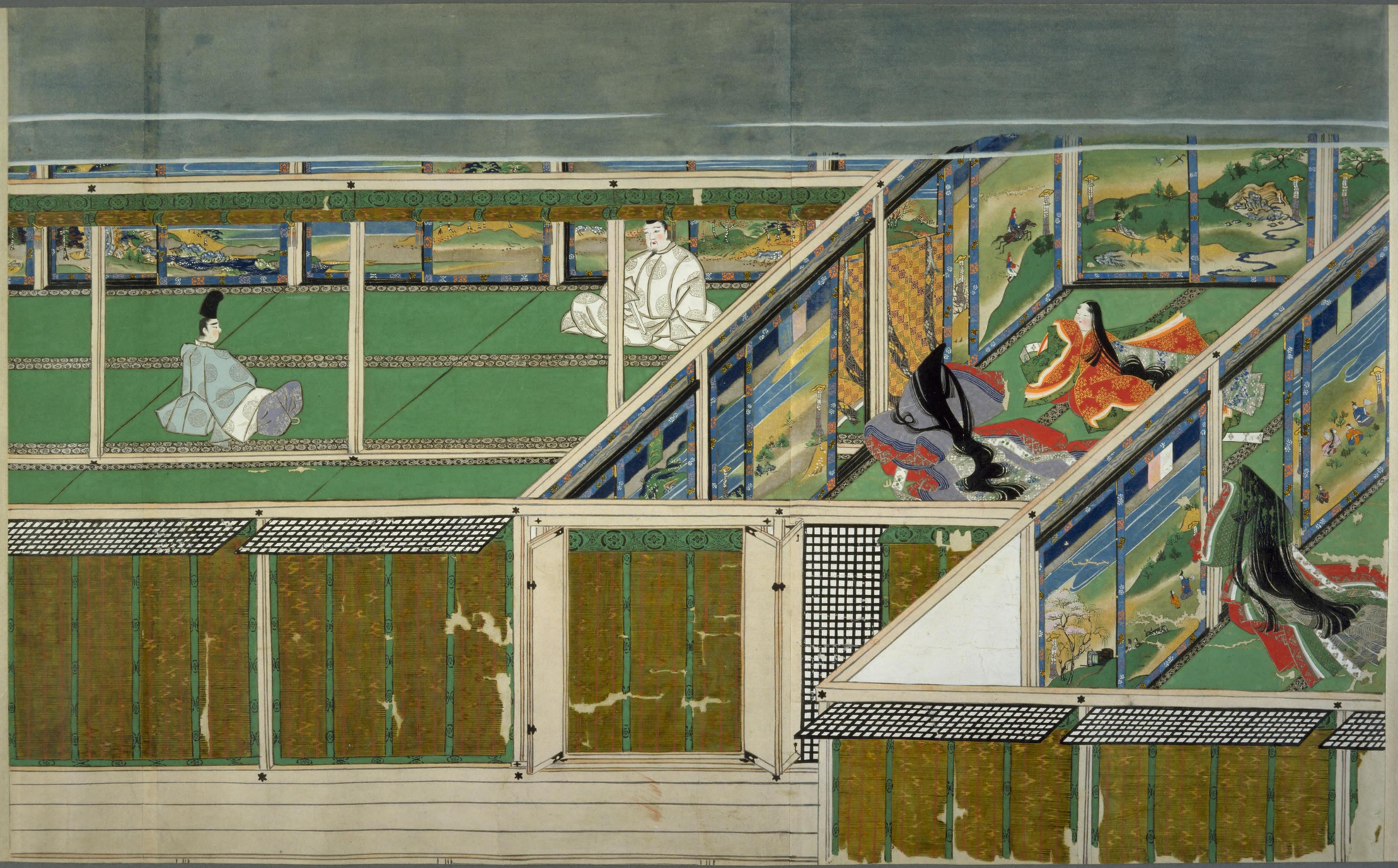
０３－００４

子うせ給ふなわさ御事なれ[illegible]
法里事女房とち申あはせてそ乃こ給むされ
法師乃子殘とりて御子乃よしにもてかしかゝ
此像なとうるけ里と里たこかたんなし給ふ左府ふ
わ不例なる所なしきありて春日大明神つゝせ給ふき
里はてむこ乃大將殿ふ見參をん申されは
たりひ恐よりて對面し給ふ左府乃ゝまふやうふ乃
むはれた里にてかしつゝ子ハ我子とやたなし
めすゆゑ〳〵なき事也そ給なる相乃子殘なり
て御子と申やさらふかりら幷をまふ屋ゝ殘
をつき給へき人ハたちゝめとたけせられ[illegible]
法性寺殿乃御事なる屋しこ殘ハ左府乃たゝ
ふ右大臣頭房と申人のむ妻兒のそ殘にむまれ
給ふ里事なる也ふ乃よし殘返しの給て殘さめこき
里左府ゝ事といひつゝと恐ひやくたほに給ハさ
[illegible]ふ乃人ありつゝ志こいをうこ里申されハ
老乃後ふうき所なきぬ事をうちおしと事ふ心の
うゝ殘を女君と恐同宿し給ハ御ゝ事ハ大將殿
御して御心御しを知る里ハれ是たもしまし[illegible]
里にかりあさましくめつゝかなる大明神乃御託宣
と殘世の人申たりひかる

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－００５



国立国会図書館

春日権現験記　20軸　WA31－13

03－006

聖院殿長者にておはしける時永久二年十月
はこの常陸國司鹿嶋の宮を造營して御社
あわさ海を記錄して國司かよひ事多屋中の蓆
はかりへ川かはしたまはれ聖殿下御覽して御廟を
不乃女房に給はせはり女房うわしさに所をよみてたまふ
海清里なり

御笠山海川ゆゑ風雲乃はけくて
たゞせの笠城あふきみるかれ

かく申たまはれ聖

うつきやまはしてをのめ毎君なれ聖
たゞ勢は彩城のゝ童くやみ聖

とおほせられは聖國司これ城見て一首城ろへ
て鹿島の宮にさて戸つり公事

手とせまてかけて聖海も朝民人若
かうへ聖いまあ君のこまつさ

これら城みな寶殿におはしける東に乃後大聖
中臣則助示現にかふまはる御所

三笠やまとせまの鳴に所さ舟しく
かくめつらしきあら城見るかな

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－００７

国立国会図書館

春日権現験記　20軸　WA31－13

03－008

御勘定によりて[illegible]
なわかる事とに爲て御悩の事ありたしめはたこと能
乃やうにかりせよにたこらせ給けるの後に日々に發せ給
公家有驗乃僧とり給ひしあつ免られ志中に一乗
寺僧正増譽加持し海いらをられ公家にたしかに蒙りしめ
たこらせ給ひしれ僧正那智瀧に三千日のあいたにはまして
滅罪のために不動の護摩を修せし功越に記とへり
君にゆつりたてまつ爲大聖たまへ給と勢免申この
事御宣旨やかてまちなをらせ給ひいまゝ無こたちさせ
給ひとて僧正慈様なと給ていたゝ恩

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－００９

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－０１０

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３
０３－０１１

次日満ゝ例乃ごとく發せ給御懺悔して日数
つもりて御守力尽よろこひ給ところに法れにし
おほこゝろよきめにせく御いきさしかはりけり
御一紀乃ミちとあいかたりことをはゝえさせ給ひ
夜中の法なき事を定ぬのなりかの増賀僧正を
見さられしは面目なかれと思ましまいかゞ思ひのこさぬよ
みて御眼の具残見さしてまつりて御ぬくのきて指
きまかりこまかにやう増賀のふりかくやうの要しき験
ニ事はまつ病相残しる也生霊死霊乃ミて思残し見大
神小袮の所為をとをわきまへて二世加持護念あるき
小を頌のましへて法ゝさまざまあさましき事ども多こ
冥き大神のいまゝ給なさるへしいさな犯所残て加持し
さて下ていとわりと思恐ありて申ける時にさきに大
神とハ春日の大神乃御事ふこそ信仰し一紀之後
ことに冥見ふ為いはりてやとて信仰をます

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

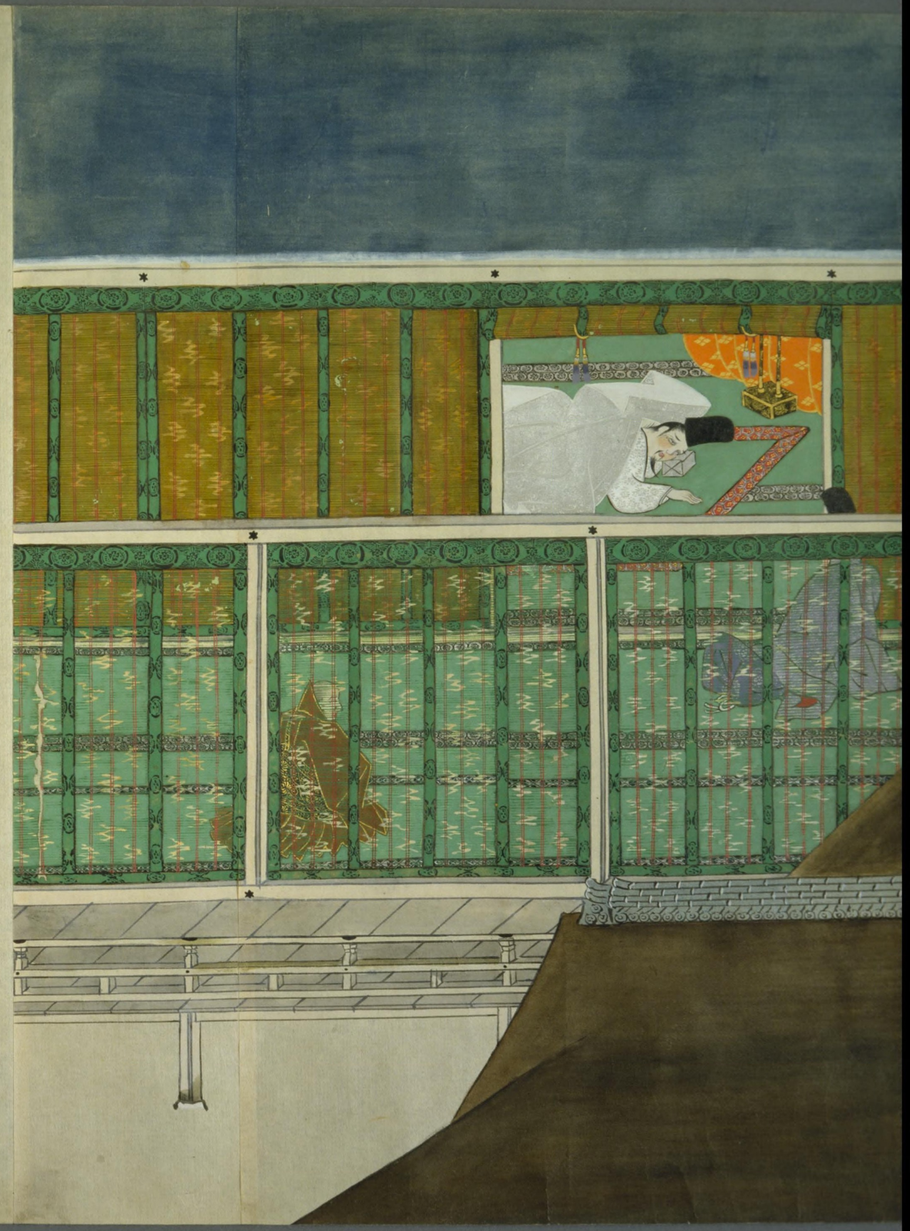
０３－０１２

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－０１３

信經ゆゑにより腰あたへたる事有難の老
翁鬢眉皓白にして志りよらえれば毎浄衣を着して
よ孫ゆひ任て多り高ひのむの若なりの宣賞なるやと
に見えてうち見まわかうくしく掴さひこゝろさまやし法性
寺屋直に御對面あれてうれ〻めしこゝろ事ゆゑ
長いくなる毎ゝとゝたせしこまへ御ことハいまゝをひき
ゆゑに海にもせいかうへを当れてやゝ自うし見志て今ゆゑは
見て小百世日になりゆゑと申せハこの能心のうちに
なほ事我が思ふ心に同せらる禮ハ任ゆゑ海賀きあ
ハあしたゝくありて申やうまゝ見別のなひ為し我
父母ゆゑ男に胎内にやとりしより未七月以前ハ日〻に毎
ち我生してまゝ海と思て大明神へさいかむさしたのちハ



国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－０１４

春日権現験記　20軸　WA31－13

03－015

いやすゝ無しなれたほせられハ事れたるこのよし我に信ずるに
やすて前にまゐりひて手を居ゑてねんくハ我大明神君に
御恨我いやしくてまつりてあるこひ我ゆゑへむ望さ
勢たま無と海をなりていのりゆせハ急にしたかひて
多くとて海にたるふ所給思御感のあまわ法性寺殿
ハ御命をはしまさ殿小殿前ハ御おをしまさ殿上
人二人ハ一緒りかれてまゐいつ又法行の井所ハ播磨
國乃大郷をあさんり今字となむ

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－０１６

国立国会図書館

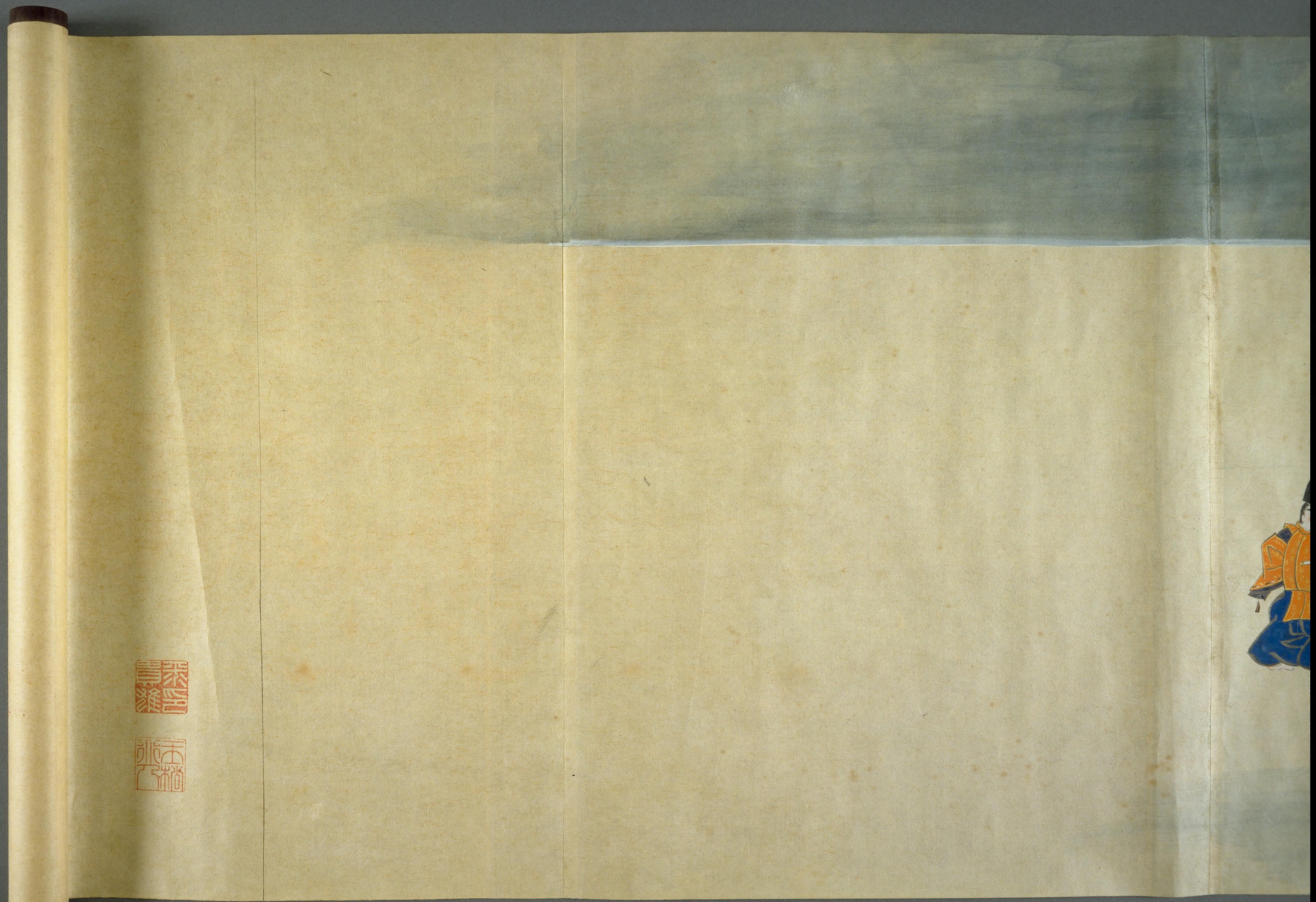
春日権現験記　２０軸　WA３１－１３

０３－０１７

国立国会図書館

春日権現験記　２０軸　　WA３１－１３

０３－０１８



国立国会図書館